



# 神戸大学ESDコースに挑戦してみませんか? (ESDプラクティショナー認定制度)

神戸大学ESDコースは各学部間及び学内外の組織と連携しながら、環境、貧困、平和、人権、福祉、健康問題 などの幅広い観点を組み込んだ「持続可能な開発のための教育(ESD)」を、アクション・リサーチ等の手法 によって全体的に理解するとともに、その推進者としての力量を形成するための新しい学修コースです。 定められた授業科目のなかから、14単位以上を修得することで、神戸大学より認定証が授与されます。 食農コープ教育プログラムの「実践農学入門」、「実践農学」、「兵庫県農業環境論A」、「兵庫県農業環境論B」 も、神戸大学ESDコースの授業科目として対応しています。

**ESDとは** Education for Sustainable Developmentの略です。地球規模の環境破壊や、エネルギーや水などの資源保全が問題となっている現 代において、人類が現在の生活レベルを維持しつつ、次世代も含む全ての人々に、より質の高い生活をもたらすことができる状態 での開発を目指すことが重要な課題となっています。

ESDは、あらゆる人々が、地球の持続可能性を脅かす諸問題に対して計画を立て、取組み、解決方法を見つけるための教育です。

# 神戸大学農学部

## 食農コープ教育プログラムガイド



お問い合わせ先

神戸大学大学院農学研究科地域連携センター TEL&FAX 078-803-5939

に提供し、より現場や社会に貢献できる実践的な人材を育成するものです。

成を目指し、2009年度から食農コープ教育プログラムをスタートしていま す。生産者や生活者の視点から地域の課題を学ぶことにはじまり、学生に質の 高い農村体験や職業体験の機会を提供しています。ぜひ本プログラムにチャ

生産者や生活者の視点から地域の課題を学び、学部教育で 培ってきた専門性と結びつけながら、課題解決に向けて取 り組むことができる人材の育成を目指しています。

本プログラムは、神戸大学ESDコースの単位に対応しています。

農家に師事する

実践農学入門 1年次通年(選択2単位)

兵庫県内の農村地域において、地元の農家さんを指導員と

し、農作物の栽培や、さまざまなむら仕事を体験しながら、

農業や農村生活の理解を深めます。この授業を通して、持続 可能な農業やライフスタイルのあり方について考えるとと もに、主体的な問題発見能力やコミュニケーション能力を

養います。

回)を行います。

授業では、現地実習や発表

会(6回)、校内学習(3回)、

および農作業や地域行事

へのボランティア参加(1

### 取り組み実績

これまで食農コープ教 育プログラムを通じて、 地域の課題解決に向け て取り組んできました。



生物多様性湿地の創生



「丹波の赤じゃが」の地域特産化



農家レストランの開設





猿害対策の柿取り競争イベント

の

場

を

支

究

進

就

### 現場の課題に参画

### 実践農学 2年次通年(選択2単位)

持続可能な農業農村の発展に関する現場での調査やインターン シップ型のプロジェクトへ参加し、実践的な学習を行い、農村地域 の産業・環境・社会を理解するための基礎的な技術や能力、および 企画立案や調整能力を身に付けます。

授業では、選択したプロジェクトごとに、現地における、科学的観 点をふまえた情報の収集・分析および実践活動を行うとともに、必 要に応じて校内学習の機会を持ちます。



# 支える仕組みを学ぶ 兵庫県農業環境論A/B 2年次第3Q/第4Q(選択1単位)

Aでは、日本における兵庫県の農林水産業の位置づけ、現状と課題、 政策展開を体系的に正しく理解し、批判的に評価したうえで、適切 な対策を提案する力を養います。授業は、兵庫県職員、農水省職員 JA職員等を講師に迎え、オムニバス形式で実施します。

Bでは、地域の農林水産業と政策立案について正しく理解し、ワ クショップを通して、適切な行政施策を提案します。また、ワーク ショップの基本的な技法も習得します。



現場に 行ってみよう 専門知識を増やしながら 実践経験を重ねよう

経験と知識を融合させよう

教養科目

専門科目

### 学生活動団体

の

実践活動

食農コープ教育プログラムの科目を履 修した学生を中心に、地域で、継続的に 活動を行うグループが結成され、地域の さまざまな課題解決に向けて取り組ん でいます。



### 農村ボランティア

農村ボランティアバンクKOBE「ノラバ」 の仕組みを利用し、各地の農家さんのと ころで、農業のお手伝いをしています。



### 地域おこし協力隊

食農コープ教育プログラムを履修した 学生のなかには、地方自治体からの委嘱 を受けて地域おこし協力隊となり、地域 での起業や地域課題の解決に向けた活 動に取り組む学生もいます。



# http://kobe-face.jp

食農コープ教育プログラム

ホームページに授業レポートを掲載しています。ぜひご覧ください。